

平成20年3月7日

お知らせ

提供資料先 倉吉記者クラブ

天神川水系河川整備計画(原案) の公表について

国土交通省倉吉河川国道事務所では、今後20～30年程度で整備する内容を示す河川整備計画の策定にむけ、平成18年度より説明会やアンケートの実施、「天神川河川整備懇談会」の開催などを行ってきたところです。

このたび、住民の方のご意見や、専門家の方から伺った意見を参考に「天神川水系河川整備計画(原案)」を作成しましたので公表します。

この原案を倉吉河川国道事務所ホームページ及び下記の縦覧場所に掲載・設置し、新聞折込によるアンケート等を通じて、地域の方々からのご意見を伺います。

また天神川河川整備懇談会(3月13日:倉吉市勤労青少年ホーム)と住民説明会(5会場)を開催し、原案について説明・意見交換を行います。

天神川河川整備懇談会と住民説明会、縦覧の詳細については別添をご覧ください。

お問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 倉吉河川国道事務所

HPアドレス <http://www.kurayoshi-mlit.go.jp>



副所長(技術) ささおか 笹岡 そういち 総一

調査設計第一課長 さかき 阪木 こうじ 浩二

電話 0858-26-6221 (代表)

天神川水系河川整備計画（原案）の抜粋

平成18年アンケート結果・治水整備の目標と整備メニュー

アンケート調査(H18年)結果

- ・住民説明会、川沿いの小中学校(保護者)、学識委員関係者等から1,500通以上の意見を収集。
- ・洪水に対する安全性を確保して欲しいとの要望が最も多くなっていますが、整備にあたっては自然環境への配慮も求められています。
- ・水質は良いと感じられており、小さい子どもでも水辺に近づけるような、ふれあいの場の整備も求められています。

項目	アンケート結果・意見 住民説明会配布 87 通、流域住民配布 (小中学校経由) 1460 通、学識委員から関係者へ配布 15 通 : 合計 1,562 通	河川整備への要望と 基本理念への反映
治水	<p>洪水の経験について</p> <p>洪水に対する安全性</p> <p>天神川では今後どのような治水対策が必要と思うか</p> <p>＜アンケート結果＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水害にあった方は約 5%と少なく、洪水に対して危険と回答した方も「やや危険」まで含めて約 15%程度であり、比較的安全な河川であると認識されていると言えます。 ・必要と考える治水対策では、堤防・護岸が最も多く、次いで堤防の漏水対策となっており、目に見える安心感を満たす整備が多くなっています。また、河道内樹木の多さの指摘もあります。 <p>＜主な意見＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年大雨の回数又雨量が想像を超え増えている気がする。洪水が起こってからはおそいので、できるかぎりの対策をお願いしたい。 ・天神川流域の堤防は、対応年数を経過しており、今後、崩壊の可能性が高いと思われるので、至急対策を望む。 ・川の中(中州のような所)にかなり木が茂っているが、早目に伐採した方が良い。 	<p>【河川整備への要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洪水に対して安全、安心な整備が望まれています。 <p>【基本理念】</p> <p>いつまでも安心・安全を確保できる川づくり</p> <p>水系全体で、戦後最大洪水を安全に流下できる川づくりを目指します。</p>
利水・環境	<p>水のきれいさ</p> <p>動植物の豊かさ</p> <p>＜アンケート結果＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水のきれいさは「とてもきれい」「まあまあきれい」と感じている人が過半数(54%)となっています。 ・動植物の豊かさは、否定的に捉えている人よりも「豊か」「美しい」と肯定的に捉えている人の方が多くなっています。 <p>＜主な意見＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・治水事業などの成果を確認しながらも、河川の再生に向けて、今後、地域住民とともに取り組んでいっていただきたい。 	<p>【河川整備への要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境を大切にしながら、川との触れあいも求められています。 ・より利用しやすい整備の方向を望む意見も多くなっています。 <p>【基本理念】</p> <p>美しい水辺を取り戻し人と自然にやさしい川づくり</p> <p>過去の美しい天神川の姿の回復を目指し、人と自然にやさしい川づくりを目指します</p>
河川利用	<p>レジャーや散策等で天神川を日常的に利用しているか</p> <p>天神川を日常的に利用する目的</p> <p>＜アンケート結果＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的に利用している人は約 30%で、利用目的は「散策」が最も多くなっています。 ・その他では、「祭り・伝統行事」のイベント系、「水遊び」が続いています。 <p>＜主な意見＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川の近くで行政と地域、子供を巻き込む行事を増やせば親も親しむ機会が増えると思います。 	<p>【河川整備への要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人々が集い合える場、子どもたちが遊べる場としての要望も多くなっています。 <p>【基本理念】</p> <p>人が集い地域に活力を創造する川づくり</p> <p>天神川を中心として人々の連携を深め、地域の活力をはぐくむ場としての川づくりを目指します。</p>
今後の整備	<p>天神川をどのようにしていきたいと思うか</p> <p>*)「ポイント」は、回答者が最も優先するとして選択した項目を7点、優先順位が最も低いとしたものを1点として、合計したものです。</p> <p>＜アンケート結果＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洪水に対する安全性を望む意見が最も多くなっていますが、現状のような動植物の豊かな河川や、安全に利用できる川を望む意見もあり、バランスの取れた整備の方向性が見えます。 <p>＜主な意見＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とにかく水害に強い川でなければ安心して暮らせない。台風や大雨による災害がないように整備して頂きたい。 ・自然を大切にすることを一番に考えて、それぞれの対策(工事)を行うよう検討していただきたい。 ・子供が安全に自然とふれあえる場所の整備 	<p>【河川整備への要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・治水・利水・環境のバランスの取れた河川整備が望まれています。 <p>【基本理念】</p> <p>いつまでも安心・安全を確保できる川づくり</p> <p>美しい水辺を取り戻し人と自然にやさしい川づくり</p> <p>人が集い地域に活力を創造する川づくり</p>

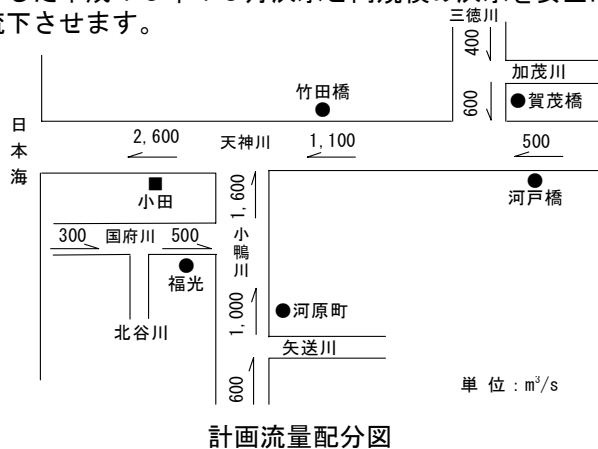
治水整備目標の考え方

- ・昭和34年伊勢湾台風洪水、平成10年台風10号洪水に相当する洪水の安全な流下を目標とします。
- ・目標に対する流下能力の不足区間は、天神川では河口付近と国管理区間上流付近、小鴨川、国府川は断続的に存在しています。
- ・三徳川は流下能力を満足しています。

治水

安心・安全を確保できる川づくり

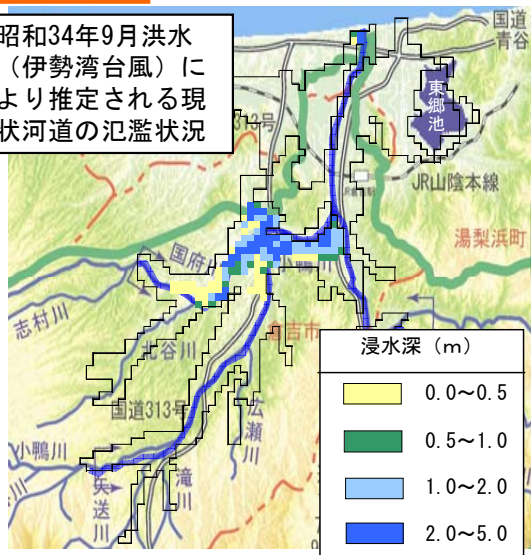
- ・天神川水系の国管理区間においては、戦後最大洪水であった昭和34年の伊勢湾台風や近年最大の被害をもたらした平成10年10月洪水と同規模の洪水を安全に流下させます。



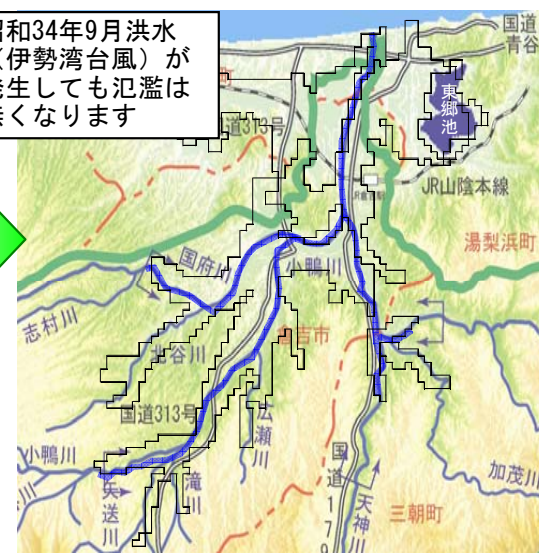
対象期間

整備対象期間は概ね30年

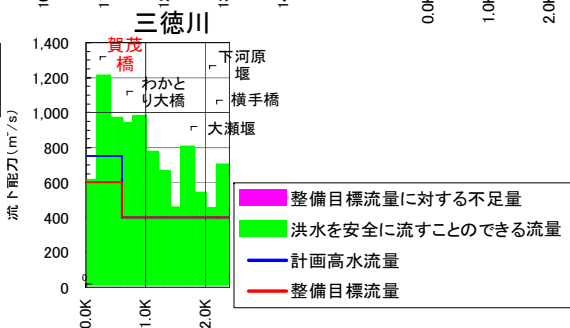
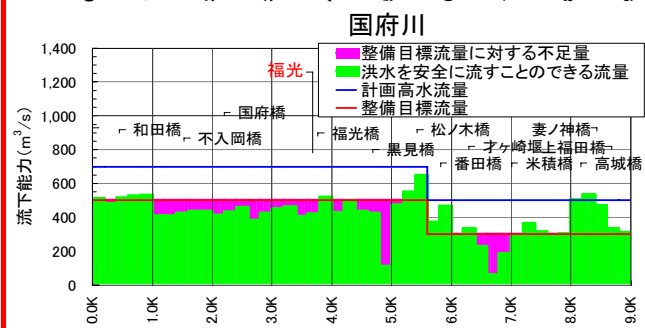
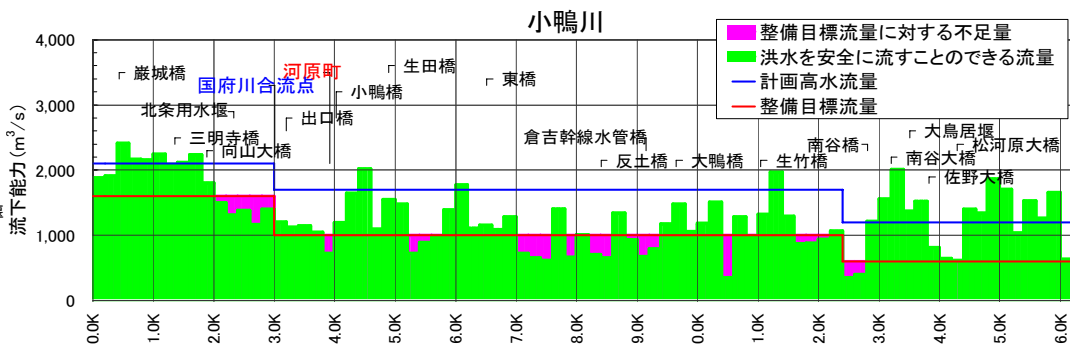
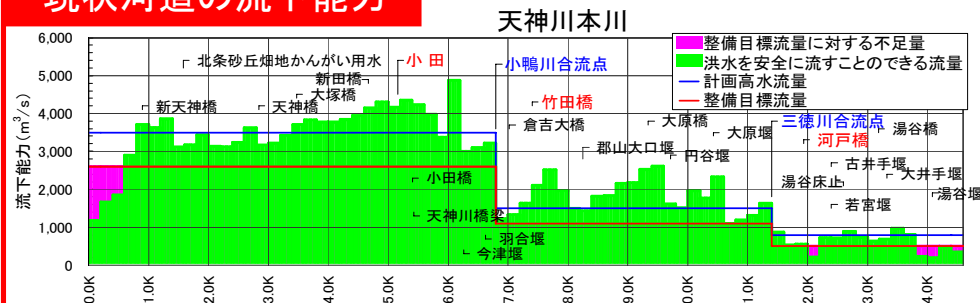
昭和34年9月洪水
(伊勢湾台風)により
推定される現状河道の
氾濫状況



昭和34年9月洪水
(伊勢湾台風)が発生しても
氾濫は無くなります



現状河道の流下能力



天神川は、河口付近と三徳川合流点上流に一部不足区間があります。

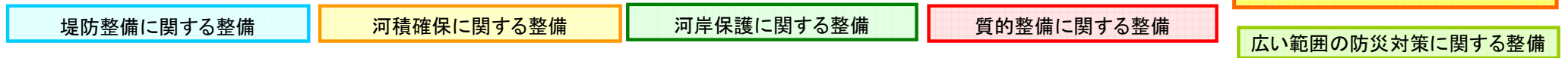
小鴨川・国府川において断続的に不足区間が存在しています。

三徳川は整備目標流量に対して流下能力は満足しています。

- ・堤防高、堤防幅が不足している箇所は堤防の整備、目標流量に対して水の流れる断面積が不足している箇所は、河床掘削、樹木伐開（樹木を取り除くこと）を行います。
- ・水が通りやすく危険な堤防は水の浸透対策工事、川岸が破壊される恐れのある箇所については川岸を防護する工事を施工します。
- ・計画を上回る洪水等に対しては、広い範囲の防災対策の拠点として河川防災ステーションを整備します。

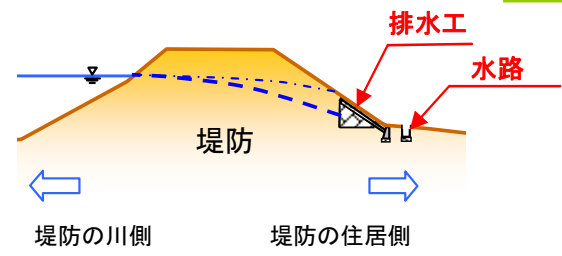
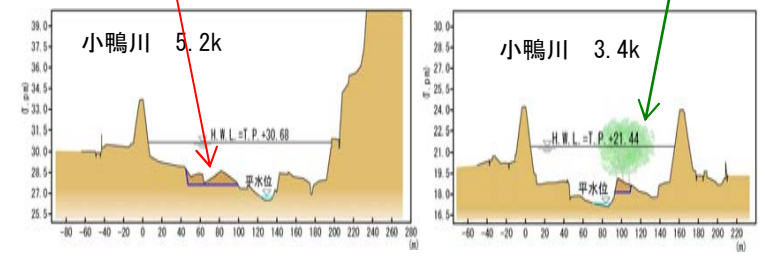
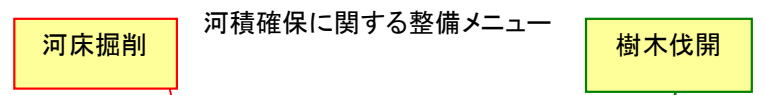
◇目標流量に対し、水位が上昇し、被害が想定される箇所及び浸透（堤防を水が通り抜けること）や洪水流に対する安全性から整備メニュー選定します。

◇計画規模を上回る洪水、整備途上段階の被害を軽減する防災設備



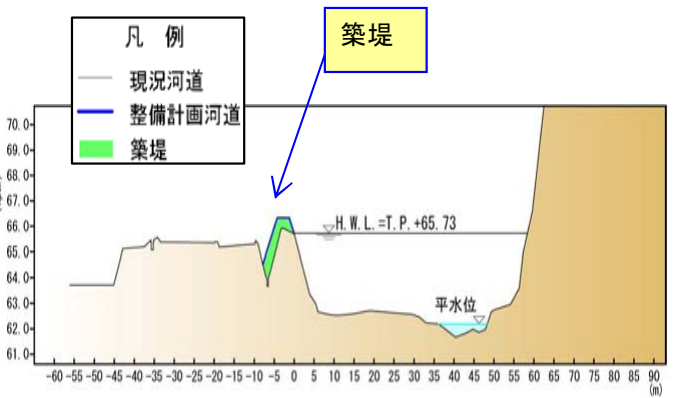
- ・特に堤防高・堤防幅が不足している箇所抽出
- ・計画高水位を上回る水位上昇箇所抽出
- ・河岸保護の必要な箇所を流れの速さから推定して抽出
- ・浸透対策を必要とする箇所抽出

- 災害時における水防活動の拠点
- ・災害情報の収集及び発信
 - ・水防資材の発送基地
 - ・水防団の活動拠点 など
- 災害復旧の拠点
- ・被災状況調査、情報収集
 - ・救援物資の集配 など

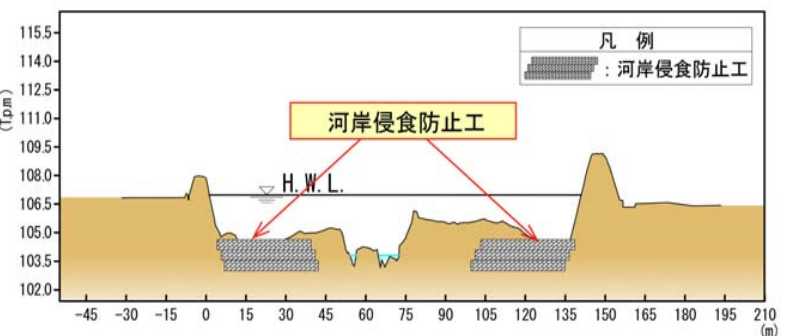


堤防の質的整備のイメージ例

堤防整備に関する整備メニュー



河岸保護に関する整備メニュー



河岸保護のイメージ図



河川防災ステーションの例

平成20年3月3日

お知らせ

提供資料先 倉吉記者クラブ



天神川のこれからの川づくりについて 皆様のご意見を伺います。

～天神川水系河川整備計画説明会の開催案内等～

国土交通省倉吉河川国道事務所では、今後20～30年程度で整備する内容を示す河川整備計画の策定にむけ、平成18年度より説明会やアンケートの実施、「天神川河川整備懇談会」の開催などを行ってきたところです。

このたび、住民の方のご意見や、専門家の方から伺った意見を参考に「天神川水系河川整備計画（原案）」を作成しました。

この原案について、皆様のご意見を伺うため「天神川水系河川整備計画（原案）」に関する説明会を下記のとおり開催します。また3月8日（土）よりハガキ等によるアンケートを実施します。

説明会はどなたでもご参加いただけます。

記

日 時：平成20年3月11日（火）19：00～21：00
 平成20年3月12日（水）19：00～21：00
 平成20年3月13日（木）18：30～20：30
 平成20年3月14日（金）19：00～21：00
 平成20年3月21日（金）19：00～21：00

場 所：3月11日（火）倉吉未来中心 1F セミナールーム1
 3月12日（水）倉吉市関金総合文化センター 2F 小会議室
 3月13日（木）三朝町総合文化ホール
 3月14日（金）北条農村環境改善センター
 3月21日（金）田後地区公民館
 （場所については別紙参照）

その他：報道機関関係者は取材を行う場合は、会社名、氏名の記入をお願いします。
 また、「天神川水系河川整備計画（原案）」については、3月10日（月）から3月24日（月）まで別紙の箇所を縦覧し、ホームページにも掲載します。

お問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 倉吉河川国道事務所
 HPアドレス <http://www.kurayoshi-mlit.go.jp>



副所長（技術） ささおか 笹岡 そういち 総一

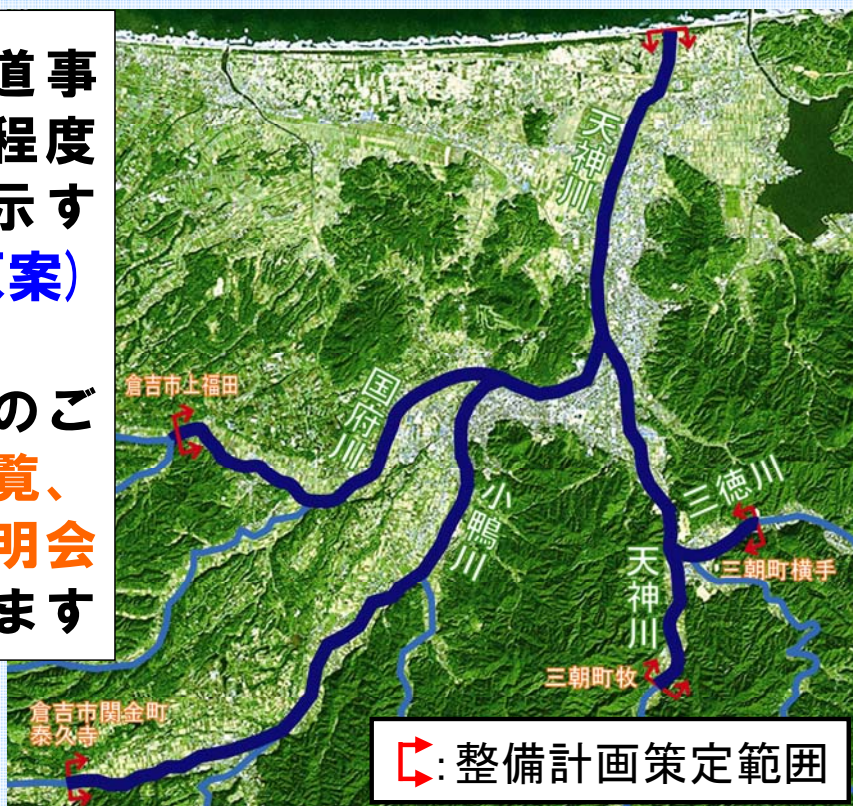
調査設計第一課長 さかき 阪木 こうじ 浩二

電話 0858-26-6221（代表）

天神川水系河川整備計画(原案)について 皆様のご意見をお聞かせ下さい

国土交通省倉吉河川国道事務所では、今後20～30年程度で河川を整備する内容を示す**天神川水系河川整備計画(原案)**を作成しました。

この原案について、皆様のご意見を伺うため、**原案の縦覧、ホームページへの掲載、説明会**を行いますのでお知らせします



🔴: 整備計画策定範囲

■縦覧しています

期間は平成20年3月10日(月)～3月24日(月)です

※9:00～17:00 土日祝祭日を除く

場所は以下のとおりです。

国土交通省	中国地方整備局	情報公開室
国土交通省	倉吉河川国道事務所	総務課
国土交通省	倉吉河川国道事務所	天神川出張所
倉吉市役所		建設課
倉吉市役所		関金庁舎
北栄町役場		北条庁舎 産業振興課
三朝町役場		建設水道課
湯梨浜町役場		東郷庁舎 建設水道課

■ホームページ

天神川水系河川整備計画 : <http://www.kurayoshi-mlit.go.jp/tkasen>

倉吉河川国道事務所ホームページ

お問合せ先



国土交通省 倉吉河川国道事務所

〒682-0018 鳥取県倉吉市福庭町1-18

TEL.(0858)26-6221 担当:調査設計第一課

<http://www.kurayoshi-mlit.go.jp>

天神川のこれからの川づくりに関する説明会

※説明会はどなたでもご参加いただけます。



3/13 木 18:30 ▶ 20:30
三朝町総合文化ホール



3/11 火 19:00 ▶ 21:00
倉吉未来中心 (1F セミナールーム1)



3/14 金 19:00 ▶ 21:00
北条農村環境改善センター



3/12 水 19:00 ▶ 21:00
倉吉市関金総合文化センター



3/21 金 19:00 ▶ 21:00
田後地区公民館

